

第1回低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ概要

日時：平成23年11月9日（水） 18:00～20:00

場所：中央合同庁舎4号館 1208特別会議室

出席者：

（有識者） 遠藤啓吾氏、神谷研二氏、児玉和紀氏、近藤駿介氏、酒井一夫氏、高橋知之氏、長瀧重信氏（共同主査）、丹羽太貫氏、前川和彦氏（共同主査） [五十音順]

（政府側） 細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣、園田内閣府大臣政務官、佐々木内閣官房副長官補、菅原原子力被災者生活支援チーム事務局長補佐、鷺坂環境省水・大気環境局長、伊藤内閣審議官、矢島内閣審議官、都築原子力安全委員会事務局管理環境課長

議事：

1. 東京電力（株）福島第一原子力発電所事故後の取組について

（1）原子力安全委員会事務局より、「原子力安全委員会が放射線防護に関する助言を行う際の基本的考え方について」と題して、「放射線防護に関する助言に関する基本的考え方について（平成23年5月19日）」、「今後の避難解除、復興に向けた放射線防護に関する基本的な考え方について（平成23年7月19日）」及び「東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故における緊急防護措置の解除に関する考え方について（平成23年8月4日）」について概要説明。

（2）原子力被災者生活支援チームより、「原子力被災者に対する取組」と題して、避難区域の設定の及び解除の考え方、除染および健康問題の3点を中心に説明。

◆上記について質疑応答

2. 低線量被ばくのリスク管理について

（1）児玉和紀（（財）放射線影響研究所主席研究員より、「原爆被爆者における低線量被ばくの影響」と題して、原爆被爆者健康影響調査の概要（調査集団、被ばく線量推定等）およびがんに関する研究結果について説明。

◆上記について質疑応答

（2）酒井一夫（（独）放射線医学総合研究所放射線防護センター長より、「低線量被ばくに対する生体の備え」と題して、放射線の影響、放射線影響の直線モデル、長期にわたる被ばく等について説明。

◆上記について質疑応答

以上